

平成 30 年愛知県支部学術講演会並びに総会開催される

愛知県支部では、去る 1 月 21 日（日）に、麻布大学獣医学部病理学研究室から宇根有美教授をお迎えして会員 25 名の参加を得て、平成 30 年支部学術講演会並びに通常総会が開催されました。

総会に先立ち開催された学術講演会は、宇根有美教授が『基礎から学ぶ動物の感染症』と題して、宇根有美先生が長きに亘り取り組まれた人獣共通感染症、特に『エキゾチックアニマルの感染症』に関する最新の知見についてご紹介して頂きました。先生は、講演時間の 1 時間 30 分、途中休憩時間を取ることもなく、非常に熱心にご講演されました。具体的な講演内容は、感染症とは等の基礎的事項の説明から始まり、各論としては、咬傷に関係する感染症（狂犬病等）、エキゾチックアニマルに流行する人獣共通感染（げっし類が媒介するもの、リス由来のもの、フクロモモンガに由来するもの、ハリネズミに由来するもの、爬虫類に由来するもの）など大変盛りだくさんの内容ではありましたが、最新の知見を多く取り入れられており、多くの参加会員から高い評価を受けておりました。

学術講演会に続き行われた通常総会では、事務局から平成 29 年事業報告及び収支決算報告について及び平成 30 年事業計画及び収支予算案の 2 案が上程され、全て可決承認されました。

ここ数年県支部総会への参加者数は低迷しており、本年もほぼ昨年同様でありましたが、本年は、獣医学科以外の学科である動物応用科学科、臨床検査技術学科及び食品生命科学科の方からも新規で参加され、大変喜ばしく思いました。平成 30 年も、引き続き会員同士の親睦を深め、支部同窓会の活性化に向けて一層の努力をしていきたいと考えています。

事務局 美濃口 直和（平成 2 年卒）

